

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース68号

2013/09/30 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：水曜日に一時大きく下落も直ぐに回復。1700£以上の高値で継続。

①週最高：12月LDN市場£1,711 / 12月NY市場\$2,639 (9/27) 先週比 **LDN-£11/NY+\$3**
②週最低：12月LDN市場£1,675 / 12月NY市場\$2,573 (9/20) 先週比 **LDN-£25/NY-\$35**
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£36 (傾向→) / NY市場\$66 (傾向→)
週内建玉推移：LDN市場 208,537枚(9/20終了時)⇒ 223,161枚 (9/26終了時) **+14,624枚**
NY市場 205,419枚(9/20終了時)⇒ 210,274枚 (9/26終了時) **+4,855枚**

①週最高：12月LDN市場£1,722 / 12月NY市場\$2,636 (9/16) 先週比 **LDN+£23/NY+\$35**
②週最低：12月LDN市場£1,700 / 12月NY市場\$2,608 (9/20) 先週比 **LDN+£16/NY+\$54**
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£22 (傾向→) / NY市場\$28 (傾向→)
週内建玉推移：LDN市場 212,803枚(9/13終了時)⇒ 209,099枚 (9/19終了時) **-3,704枚**
NY市場 201,602枚(9/13終了時)⇒ 205,653枚 (9/19終了時) **+4,051枚**

【9月23日(月)】ニューヨーク、小反発=LDNも反発

ニューヨーク市場は小反発した。12月きりは2ドル高の2610ドルで終了。一時1年ぶり高値を付けたが、先週、商品(コモディティ)が幅広く売られる中で、上値は抑えられた。

RJOフューチャーズのヘクトール・ガルバン氏は「先週、売りが続き、ディーラーらは消極的だったようだ。きょうは薄商いの中、ショートポジションを買い戻す動きが見られた」と話した。

輸出業者の試算によると、主要産地コートジボワールの港湾に着荷するココアの量は、昨年10月のシーズン開始から9月22日までに約142万4000トンに達した。前年同期の140万1000トンから増加している。ロンドン市場は反発。12月きりは3ポンド高の1703ポンドで引けた。

【9月24日(火)】

ニューヨーク市場のココア先物は小反落。12月きりは、7ドル(0.3%)安の2603ドルで終了した。ただ、19日に付けた1年ぶり高値の2657ドルを依然として視野に捉えている。

ロンドン市場の12月きりは、3ポンド安の1700ポンド、3月きりは、1ポンド安の1678ポンドで引けた。

世界的なカカオ豆の供給不足観測を背景に、両市場とも、投機筋は大幅買い越しを維持している。i i トレーダー（シカゴ）のシニア・マーケット・ストラテジスト、ビル・バルーク氏は「ココアは短期的には小幅調整もあるが、長期的には強気相場が予想される」と話した。

【9月25日（水）】

ニューヨーク市場のココア先物は、カカオ豆の主要産地である西アフリカでの適度な降雨を受けて続落した。

12月きりは30ドル（1.2%）安の**2573ドル**で終了。一時は2週間ぶり安値となる2561ドルまで下げた。下げ幅は8月末以来の大きさ。

西アフリカの乾燥天候に伴うカカオ豆の供給不安や予想を上回る現物需要を受け、投機筋がココア市場に押し寄せていた。

プライス・フューチャーズ・グループ（シカゴ）の副社長、ジャック・スコビル氏は「われわれは多くの天候リスクを織り込んでいたが、主要な収穫期が近づくにつれ、リスクは和らいできた」と述べた。

MDA ウェザー・サービスはレポートで、広範囲にわたる降雨が西アフリカの土壌の湿度を引き続き高めると指摘した。ロンドン市場の12月きりも続落し、25ポンド（1.5%）安の**1675ポンド**で終了。一時は3週間ぶりの安値となる1670ポンドまで下げた。

【9月26日（木）】両市場とも反発

ニューヨーク市場のココア先物は反発。12月きりは24ドル（0.9%）高の2597ドルで引けた。前日に1.2%安となったことで上昇した。7～9月期は20%高で終わる見通しで、これは過去4年で最も良いパフォーマンス。ロンドン市場も反発し、12月きりは24ポンド（1.4%）高の1698ポンド、3月きりは17ポンド（1%）高の1672ポンドで終了。

【9月27日（金）】両市場とも続伸

ニューヨーク市場は続伸。12月きりは42ドル（1.6%）高の**2639ドル**で引けた。

ディーラーによると、コートジボワールやガーナは高値を好機とみて、2014～15年度産の先物販売を例年よりも前倒ししており、産地筋のヘッジ圧力は、当初想定よりも弱まる見通しだ。ロンドン市場の12月きりは13ポンド（0.8%）高の**1711ポンド**で引けた。

2、コートジボワール・カカオ豆産地、降雨で生育改善も＝病害リスクも残る(9/24)

コートジボワールのカカオ豆主産地では先週、豊富な雨と晴天に恵まれ、メインクropp期（10～3月）のカカオ豆の生育が改善する可能性が出ている。同国の農家が23日、明らかにした。

ただ、病害が拡大するリスクも残っているという。

農家らは、9月の天候には満足しているが、カカオ豆の大きさが改善し、病害の拡大を回避するには10月後半まで多くの日照が必要だと説明した。

同国西部ドゥエクエの農家によると、先週は大雨が降ったものの、日差しが依然として弱いため、ブラ

ックポッド病が発生するとの懸念が高まっているという。一方、中西部ダロアの農家は、2度にわたる豊富な雨と晴れの天候に恵まれ、カカオ豆の大きさが改善する可能性があるとの見方を示している。

3、コートジ、ガーナ 2014/2015 年産カカオの先物販売を開始(9/26)

世界のカカオ生産のトップの2カ国であるコートジボアールと、ガーナが2014年の10月から開始される2014/2015年産カカオの先物販売を開始したことがトレーダー筋の話で判明した。この時期の先物販売は例年より早く、現在のカカオ豆相場がこの1年間でもっとも高い水準にあることを受けて販売を早めた様子。

『私は、彼等は既にこれから集荷が始まる2013/2014産カカオの販売は既におこなってしまったと考えているので、もし今の高いカカオ価格の利益を得ようとしたら、彼らに残された選択肢は何だろう？更に先のカカオを販売するしか方法はない』あるトレーダーは言う。

ロンドン先物市場の3月きりの価格は今月頭に過去1年間で最も高い1トン当たり1707ポンドをつけていたが、本日現在では1665ポンドとなっている。

両国でのカカオのシーズンは毎年10月1日から開始され9月30日で終了する。

4、コートジのカカオ豆着荷量、22日時点142万4000トン=輸出業者推計(9/24)

輸出業者が23日公表した推計によると、2012～13年度（12年10月～13年9月）のコートジボワールの主要2港（アビジャン港、サンペドロ港）のカカオ豆着荷量は、9月22日時点で約142万4000トンとなり、前年同期の140万1000トンを上回った。9月16～22日の2港への着荷量は約2万トンで、前年同期の1万6000トンから増加した。

5、コートジカカオ、新シーズンを前に農家出荷価格が上昇(9/28)

コートジのカカオ農家によると、先週、主要なカカオ生産地域での農家出荷価格が新物の政府が決定する買付け価格の提示を待つ為に農家が在庫を販売せずに抱える動きが生じたことが原因で上昇したと報告された。

新物のメイン・クロップは10月1日から開始されるが、多くの農家は4月-9月間のミッドクロップの価格として設定されている指標価格の700 CFA francs (\$1.44) /kgよりも新物の買付け価格が高いと期待している。

昨年、コートジ政府は農家の収入を向上させ、カカオ産業により多くの再投資がおこなわれるように大胆な産業構造の改革を行った。この改革により、政府は毎シーズン毎にカカオ農家からの出荷価格を固定することになった。

コートジ全体の収穫数量の約25%を占める中西部地域のDaloaでは、農家は買付け人同士の競争もあり、先月は550-650 CFA francs/kgで販売していたものが、現在では700 CFA francs/kgでも販売したくないという状況になっている。

『先週からほとんど販売はなかった。農家は彼らのカカオの在庫を保管しており、新シーズンが始まるのを待っている状態だ』Daloaの郊外のカカオ農家は言う。

『買付け人は先月は平均価格で600 CFA francs/kgであったカカオを現在、650 CFA francs/kg から 700

CFA francs/ kg で買い付けようと農家に打診しているが、農家はもはやその価格では了承しなくなっている』前述の農家は続ける。

また、コートジの西部地域のカカオベルトの中心である Soubre では、農家はカカオの豆のサイズが向上していることを理由に価格を上昇させている。

『今は凄く良い品質のカカオが収穫されているので、700 CFA francs では販売できない、買付け人も少し経てばもう少し高い価格を払ってでも買いに来るだろう』Soubre の農家は言う。

ガーナとの国境沿いの東部地域の Abengourou でもカカオの価格は上昇した。

6、アジア市況：アジア市場でのココアバター、過去5年で最高のレシオに到達(9/24)

- ・ココアバターの価格はロンドンカカオ豆相場価格に対して 2.75 レシオ
- ・ココアパウダーの価格は変わらず\$1600-\$1700/トン
- ・米国市場でのココアバターのレシオは 2005 年以降で最高の値

ココアバターの価格は、チョコレートメーカーからの需要に陰りが見えないことと、いくつかの磨砕業者が在庫を出し控えている為に、過去 5 年間でも最高のレシオに到達しているとディーラー筋が報告した。

昨年の動きの悪い市況からココアパウダーの在庫が増えており、磨砕業者の製造が一部中断した後に、ココアバターのレシオはアジア市場と欧州市場では 2008 年以来で一番の高値に高騰しており、米国市場に至っては 8 年ぶりの高値水準にまでなっている。

今週は、直近のデリバリーのココアバターの価格はロンドンのカカオ先物市場価格に対して 2.75 レシオもしくは\$7,500/トンとなっている。先週のレシオは 2.68-2.70 であった。

『ココアパウダーの需要が弱い中で、ココアバターの供給が未だに問題だ。磨砕業者は単純にココアバターを安く販売したくないという状況だ』シンガポールのディーラーは言う。『バターの需要は米国と欧州からで通常良くチョコレートを消費する市場からのものだ』

ココアパウダーの価格は先週と変わっておらず、現在\$1600-1700/トンであるが、今年の 1 月の\$4,000 からは大きく下落した。

『パウダーが現在の価格レベルにとどまっている限りは、我々は買い手を見つけることが出来るだろう。しかしながら一方でこれ以上に安く販売することも出来ない。なぜなら多くの磨砕業者は既にココアバターの販売価格を決めてしまっているからだ。我々は現在中東とインド市場にパウダーを販売している』マレーシアのある磨砕業者は言う。

来週の予測：

ココアバターは引き続き過去 5 年の最高値にとどまり今週と同じレベルで推移し、ココアパウダーはアジアと中東からの需要により、現在の\$1600/トン以下への下落は妨げられるだろう。

*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp